

平成 25 年（2013 年）12 月 18 日
総務部市町村課
（課長）池田 秀幸
（担当）山田 明子・森谷 隆一
電話：026-235-7062（直通）
026-232-0111（内線 2122）
FAX：026-232-2557
E-mail：shichoson@pref.nagano.lg.jp

地方事務所長からの 施策提案への対応状況 （平成 26 年度当初予算要求時点）

※予算要求段階での状況を取りまとめたものであり、今後の予算編成等における検討により内容が変わる可能性があります。

長野県

平成25年（2013年）12月

地 方 事務所	提案内容		対応状況 ※ [㊦] は新規事業 ※〈 〉内は特に注釈がない場合、H26 当初予算要求額（単位：千円）	担当部課（室）
	施策名	概要		
上 小	住宅・建築物耐震改修促進事業の拡充	耐震性に劣る住宅の耐震改修工事が進んでいないことから、安価で保護効果の高い耐震シェルターの設置に対して助成を行います。 また、法改正により特定建築物等の耐震診断が義務づけられ、結果を公表することとされたため、早期診断実施のため助成を行います。	住宅の耐震化については、建物全体の耐震性を高める必要があると考えており、下記の事業の中で、経済的負担の軽減のため複数回に分けて行う改修工事についても補助対象とするよう要求しています。 ・住宅・建築物耐震改修促進事業 〈80,978〉 また、耐震診断が義務化された建築物の耐震診断実施への助成については、下記の事業を要求しています。 [㊦] ・大規模建築物等耐震改修緊急促進事業 〈41,900〉	建設部 建築指導課
諏 訪	諏訪湖の貧酸素対策調査研究事業	諏訪湖の貧酸素層の拡大により、水生生物の生育環境が悪化し漁獲量減少の一因となっているため、拡大要因の解析を行うとともに、現在検討されている貧酸素対策の諏訪湖への適応性について実証実験を行います。	諏訪湖の貧酸素層の拡大要因の解析や、拡大防止のための実証実験等の実施については、下記の事業を要求しています。 [㊦] ・諏訪湖の貧酸素対策調査研究事業 〈1,458〉	環境部 水大気環境課
諏 訪	諏訪湖のヒシ除去による環境影響調査事業	諏訪湖で大量繁茂するヒシについては、生態系や水質浄化に一定の役割を果たしていることから、複数の条件下でヒシの除去を行い、条件の違いによる繁茂状況・生態系や水質への影響等の経年変化を調査することにより、生態系に配慮した効果的なヒシ除去を推進します。	諏訪湖のヒシの除去については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 ・河川環境整備事業等 〈130,400〉	環境部 水大気環境課 建設部 河川課
諏 訪	「ニホンジカ行動マップ（全県版）」作成事業	農林業や自然環境に被害を及ぼしているニホンジカは、広範囲に季節移動していることから、広域連携による要所を見定めた効率的な捕獲等の推進のため、全県下をカバーするシカの行動マップを作成します。	ニホンジカ行動マップの作成については、下記の事業の中で地域ごとに対応が可能となるよう要求しています。 ・野生鳥獣捕獲・管理事業 (シカ等効率的捕獲方法推進事業) 〈14,500〉	林務部 野生鳥獣対策室

地 方 事務所	提案内容		対応状況	担当部課（室）
	施策名	概要		
上伊那	世界を目指す「南アルプスジオパーク」の取組への支援	地球活動の遺産（地層、地形、断層など）を主な見所とし、ジオツアーや環境学習への活用が期待される「南アルプスジオパーク」の「世界ジオパーク」認定を目指す取組を支援します。 ○情報発信 ○事務局体制への支援 ○「日本ジオパーク南アルプス大会」開催への支援	※ 新 は新規事業 ※〈 〉内は特に注釈がない場合、H26当初予算要求額（単位：千円） 「南アルプスジオパーク」に対する活用方法等については、部局横断的な政策課題となるため、関係部局による庁内連絡会議を設置し、検討を開始しています。 また、事務局体制への支援については、県・市町村職員派遣研修での対応を検討します。 なお、「日本ジオパーク南アルプス大会」開催への支援については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 新 ・自然公園魅力発信事業 〈11,497〉	環境部 自然保護課 観光部 観光企画課
上伊那	ニホンジカ等の効率的・効果的捕獲技術向上支援	上伊那で行われている「くくりわな」の捕獲技術を、県内市町村職員・猟友会員等へ広く普及し、全県の捕獲技術のレベルアップを図ります。 ○リーダー養成講習会の実施 ○リーダーによる高度な捕獲技術の各地域への普及	「くくりわな」の捕獲技術の普及については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 ・野生鳥獣捕獲・管理事業 (新)鳥獣被害対策実施隊強化事業) 〈45,794〉	林務部 野生鳥獣対策室
下伊那	飯伊地域の成長産業支援	飯伊地域の高いものづくりの技術を活かして、成長が見込まれる産業分野を強化し、事業拡大や雇用創出などを図ります。 ○航空宇宙分野における一貫生産体制の強化や技術人材の育成への支援 ○健康・医療分野におけるニーズの掘り起こしや健康機能食品、医療用機器の開発・研究への支援	航空宇宙分野における一貫生産体制の強化については、国が検討している拠点整備支援事業の情報収集・提供を行います。 また、人材の育成への支援については、既存の職業訓練校や、長野県中小企業振興センター及び長野県テクノ財団のコーディネータの活用などにより支援します。 健康・医療分野における支援については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 新 ・現場課題解決型医療・福祉機器開発支援事業 〈10,000〉	商工労働部 次世代産業集室 ものづくり振興課 人材育成課

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 (室)
	施 策 名	概 要		
下伊那	樹園地継承等への支援	<p>果樹産業の持続的な発展を図るため、樹園地継承システムの構築をモデル的に推進します。</p> <p>○樹園地情報管理システムの構築への支援</p> <p>○樹園地の中間管理を支援</p> <p>○市町村等による新規就農希望者の研修を支援</p> <p>○農業後継者（農家子弟）に対する施策の充実を国に要請</p>	<p>※新は新規事業</p> <p>※< >内は特に注釈がない場合、H26 当初予算要求額（単位：千円）</p> <p>樹園地継承についての意向調査や規模拡大を希望する農家等へ樹園地を斡旋するコーディネータの配置、新規就農希望者の研修体制の整備等については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プラン推進事業 <46,425> ・新規就農・経営継承総合支援事業（技術習得支援事業） <6,900> <p>また、樹園地の中間管理のうち、一時的な管理に取り組む事業者への支援については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要に応える園芸産地育成事業 <43,500> <p>なお、農業後継者（農家子弟）に対する施策の充実については、国において、親元就農者に対する青年就農給付金の支給要件の緩和が検討されていますが、引き続き施策の一層の充実を要請していきます。</p>	農政部 園芸畜産課 農村振興課
木 曾	旬の一品（逸品）魅力発信事業	<p>木曾ならではの食材や郷土料理を使ったキラリと輝く一品（逸品）を、無理なく宿泊客に提供する仕組みを構築します。</p> <p>○旅館への意向調査・生産物の収穫量調査</p> <p>○協議会での検討</p> <p>○実証試験・検証・情報発信</p>	<p>木曾ならではの食材や郷土料理の魅力発信については、地域の関係者の主体的な取組が促進されるよう助言、情報提供を行います。</p>	観光部 信州ブランド推進室
木 曾	地方事務所長総合調整推進費の充実 ～きめ細やかな地域の課題解決に向けて～	<p>きめ細やかな地域の課題解決の推進のために迅速かつ柔軟な対応が出来る地方事務所長総合調整推進費の充実を図ります。</p>	<p>地方事務所長が、地域の課題解決に向けた取組を迅速かつ柔軟に実施するため、下記の事業を要求しています。</p> <p>なお、事業の充実を図るため、各地方事務所への予算の配分方法の検討を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方事務所長総合調整推進費 <5,000> 	総務部 市町村課

地 方 事務所	提案内容		対応状況	担当部課（室）
	施策名	概要		
松 本	健康・福祉用具等開発支援プロジェクトの推進	次世代産業の創出と高齢者や障害者にやさしい社会の実現のため、健康・福祉用具等の開発を支援するプラットフォームを構築します。 ○プロジェクトの運営 ○健康・福祉用具等開発経費の補助	※ 新 は新規事業 ※〈 〉内は特に注釈がない場合、H26 当初予算要求額（単位：千円） プロジェクトの運営については、長野県テクノ財団のコーディネータを活用し支援します。 また、健康・福祉用具等開発経費への補助については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 新 ・現場課題解決型医療・福祉機器開発支援事業 〈10,000〉	商工労働部 ものづくり振興課
松 本	大学との連携による地域プロジェクトの推進	地域プロジェクトを推進する手法の一つとして、大学との連携を取り入れ、大学の専門性や活動等の活用を図ります。 また、こうした柔軟な施策展開が可能となるよう、地方事務所独自に執行できる予算を拡充します。	大学との連携による地域プロジェクトの推進については、下記の事業の中で、地方事務所長が、地域の課題解決に向けた取組を迅速かつ柔軟に実施できるよう要求しています。 ・地方事務所長総合調整推進費 〈5,000〉	総務部 市町村課
松 本	野生獣対策サポート隊支援事業	高齢化や人口減少が進む集落における野生獣による農林業被害防止のため、柵周辺の緩衝帯整備や侵入防止柵の維持管理を行うボランティア等によるサポート隊の設置運営を支援します。	サポート隊の体制整備に係る会議経費等については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 ・野生鳥獣被害総合対策事業 〈65,000〉	林務部 野生鳥獣対策室 農政部 農業技術課
北安曇	ニホンジカの北アルプス侵入阻止大作戦	ニホンジカの侵入初期段階である北アルプス山麓において、被害拡大を未然に防ぐための集中捕獲を行います。 ○集中捕獲 ○射撃場の施設整備	ニホンジカの集中捕獲の実施については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 ・野生鳥獣捕獲・管理事業 （シカ等効率的捕獲方法推進事業） 〈14,500〉 （ 新 鳥獣被害対策実施隊強化事業） 〈45,794〉 なお、射撃場の施設整備については、国に対して支援を要望していきます。	林務部 野生鳥獣対策室

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 (室)
	施 策 名	概 要		
北安曇	国内外の観光客が共に心地よく過ごす「世界水準の観光地」をめざして	海外からの旅行者が関わるトラブルの未然防止に向けた体制を整えるとともに、地域ぐるみのおもてなし向上を図り、世界水準の観光地づくりを進めます。 ○連絡会議の設置 ○普及・啓発 ○受入体制の整備	※ 新 は新規事業 ※〈 〉内は特に注釈がない場合、H26 当初予算要求額（単位：千円） 海外からの観光客の受け入れ体制整備として、電話通訳サービス等について、下記の事業を要求しています。 新 ・外国人旅行者にやさしい受入環境整備事業 〈12,326〉 なお、連絡会議の設置等については、地域の関係者の主体的な取組が促進されるよう、助言・情報提供を行います。	観光部 国際観光推進室
北安曇	「ふるさと信州風景百選」を活用した地域資源の情報発信	「ふるさと信州風景百選」の成果を観光振興に活かすとともに、「ふるさと景観」の普及・定着を図ります。 ○観光情報等を掲載した「ビューポイントマップ」の作成	「ふるさと信州風景百選」を活用した地域資源の情報発信については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 ・ふるさと信州風景百選事業 〈1,500〉	観光部 観光振興課 建設部 建築指導課
長 野	長野駅における長野県広域観光情報の発信	長野県観光の玄関口である長野駅において、来訪者に長野県内の観光情報を発信する機能を整備します。	長野駅において、全県の観光情報を発信するため、下記の事業を要求しています。 新 ・県内情報発信拠点整備事業 〈1,200〉	観光部 観光企画課
長 野	地域資源を活かした「食」のブランド力向上事業	うまいもの商談会を通じて地域資源を活かした新商品等を発掘し、その商品を地域資源製品開発支援センターなどと連携して磨き上げることにより、北信・東信地域の食のブランド力の向上を図ります。 ○売り手（地元生産者等）を対象とした準備講座の開催 ○「東北信うまいものまるごと大商談会2014」の開催 ○商品の磨き上げ	準備講座や商談会の開催については、長野県中小企業振興センターの販路開拓推進員等との連携により行います。 また、商品の磨き上げについては、引き続き、長野県中小企業振興センターや地域資源製品開発支援センター等において支援します。	商工労働部 経営支援課 ものづくり振興課

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 (室)
	施 策 名	概 要		
長 野	太陽光発電の普及に係る推進体制検討事業	急速に設置が進む太陽光発電（住宅・企業・メガソーラー）について、導入状況を把握する仕組みや今後予想される様々な問題への対応策など、早期に検討を行うことにより、太陽光発電の一層の普及促進を図ります。 ○「太陽光発電設備の設置に係る課題検討ワーキンググループ」の設置	※ ^① は新規事業 ※〈 〉内は特に注釈がない場合、H26 当初予算要求額（単位：千円） 太陽光発電設備の設置に係る課題全体を把握するため、既存の「市町村研究会」を活用し、必要に応じて関係部局と連携しながら検討していきます。	環境部 温暖化対策課
北 信	信越自然郷「自然エネルギーの郷」推進プロジェクト	北信地域の特性を活かした自然エネルギーを活用した取組の連携・協働化を図るとともに、必要な支援を行うことで「自然エネルギーの郷」としてブランド化を進め、地域振興につなげます。 ○広報・情報発信等 ○調査研究、バイオマスボイラー等の導入に対する支援等	自然エネルギーを活用した事業の実施については、下記の事業の中で対応が可能となるよう要求しています。 ・地域主導型自然エネルギー創出支援事業 〈25,000〉	環境部 温暖化対策課
北安曇 ・長野 ・北信 三 所 共 同	新幹線延伸を契機とした広域連携推進事業	平成 27 年春の新幹線延伸及び善光寺御開帳を契機に地域経済の活性化を推進するため、北安曇、長野、北信の三地方事務所が連携して、広域的な観光PRを実施します。 ○広域観光PRの実施 ○山岳リゾート形成に向けた取組の検討	北安曇、長野、北信地域の広域観光PRについては、まずは、飯山駅における二次交通対策や認知度向上及び県内停車駅からの周遊滞在への取組に傾注するため、下記の事業を要求しています。 ・北陸新幹線延伸を活かした観光振興事業 〈79,089〉 なお、山岳リゾート形成に向けた広域連携については、地域の関係者の主体的な取組が促進されるよう、助言・情報提供を行います。	観光部 観光企画課 信州ブランド推進室 観光振興課